

2010年12月期決算 説明会資料

2011年2月21日
近畿日本ツーリスト株式会社



2010年概況

旅行需要は本格的な回復に至っていないが、海外旅行を中心に持ち直しの傾向

<団体旅行>

- 「バンクーバー冬季オリンピック」「FIFAワールドカップ南アフリカ大会」、「平城遷都1300年祭」、「上海国際博覧会」など大型イベント関連の需要獲得
- 北海道・九州の分社化による地域密着営業の推進

<個人旅行>

- 不採算店舗の閉鎖(71店舗)による経営の効率化
- Web販売の拡大

<グローバル事業>

- 中国、アジアでの旅行需要を獲得するための拠点整備
上海(2月)、タイ(5月)、香港(6月)
- 訪日旅行の受入会社として「KNT ASIA」(12月)の設立

<費用構造の改革>

- 年金制度改革の実施(6月1日実施:平年度20億円の削減効果)

KNTグループ(連結の範囲)



<旅行業部門>

- 国内旅行会社(11社)
 - (株)KNTツーリスト
 - (株)近畿日本ツーリスト北海道
 - (株)近畿日本ツーリスト九州
 - (株)ユナイテッドツアーズ
 - (株)ケイアイイーチャイナ
 - (株)近畿日本ツーリスト神奈川
 - (株)ティー・ゲート
 - (株)KNT ASIA 他
- 海外旅行会社(13社)
 - 近鉄インターナショナルエクスプレス
(USA、EUR、OCE)
 - KNT KOREA KNT(HK)他
- 旅行関連事業会社(5社)
 - (株)KNTビジネスクリエイト
 - (株)ツーリストエキスパート 他

<損害保険業部門>

- 再保険引受事業会社(2社)
 - H&M INSURANCE
 - GRIFFIN INSURANCE

<持分法適用関連会社>4社

- KNT TRAVEL (THAILAND)
- (株)エヌ・ティ・ティ・データ テラノス
- (株)箱根高原ホテル
- (株)奥日光高原ホテル

2010年12月期業績(連結)



単位:百万円

	10/12月期	09/12月期	増減額	増減率(%)
営業収益	63,544	62,785	758	1.2
旅行業	62,368	61,722	645	1.0
損害保険業	1,176	1,063	113	10.7
営業費用	61,908	66,125	△4,216	△6.4
営業利益	1,636	△3,339	4,975	—
経常利益	1,571	△2,891	4,463	—
特別利益	7,709	317	7,392	—
特別損失	8,837	2,249	6,587	292.8
当期純利益	314	△8,433	8,748	—

- ◆営業収益＝＜旅行業＞国内旅行 422億円 5.1%減 海外旅行 258億円 11.0%増(単純合算)
- ◆営業利益＝前期よりKNT31億円増益、KNTツーリスト8億円増益(黒字化)
- ◆経常利益＝受取利息2億円 為替差損3億円
- ◆特別利益＝退職給付制度改定益64億円 固定資産売却益7億円
- ◆特別損失＝退職給付制度終了損72億円 店舗閉鎖損失 3億円

2010年12月期業績(個別)



単位:百万円

	10/12月期	09/12月期	増減額	増減率(%)
営業収益	51,133	51,619	△ 485	△ 0.9
営業費用	49,836	53,486	△ 3,650	△ 6.8
営業利益	1,297	△1,867	3,165	—
経常利益	1,211	△1,208	2,419	—
特別利益	7,448	418	7,030	—
特別損失	8,324	3,595	4,729	131.5
当期純利益	357	△7,855	8,212	—

- ◆営業収益＝国内旅行の減少により前期より▲4億円(北海道・九州の分社化による)
前年実績から北海道・九州を除いた前年比は、売上高3.5%増、営業収益2.1%増
- ◆営業費用＝販売費や人件費の減少により前期より▲36億円
- ◆経常利益＝受取利息・配当金4億円、為替差損3億円
- ◆特別利益＝退職給付制度改定益64億円
- ◆特別損失＝退職給付制度終了損72億円

2010年12月期 国内・海外別売上高・営業収益（個別）

単位:百万円

	国内旅行	海外旅行	国際旅行	その他	合計
売上高	216,325	143,034	8,337	5,785	373,482
増減率(%)	△ 8.5	14.7	36.5	12.2	0.3
構成比(%)	57.9	38.4	2.2	1.5	100.0
営業収益	32,549	15,434	1,189	1,960	51,133
増減率(%)	△ 7.4	13.0	11.0	12.6	△ 0.9
構成比(%)	63.7	30.2	2.3	3.8	100.0
収益率(%)	15.0	10.8	14.3	33.9	13.7

- ◆ 海外旅行の収益率が低いのは、クーポン券類、個人の収益率が極端に低い(2.2%)ため。
- ◆ 国内旅行は、全般的に不調。メイト(売上高▲6.3%営業収益▲3.9%)
個人<代売>(売上高▲7.6%、営業収益▲14.5%) 団体旅行(売上高▲11.6%、営業収益▲9.9%)
- ◆ 海外旅行は、団体・個人とも伸びている。団体(売上高24.5%増、営業収益15.4%増)、
個人<代売>(売上高20.8%増、営業収益14.3%増) ホリデイ(売上高4.6%増、営業収益11.4%増)

連結貸借対照表



単位:百万円

	10/12月期	09/12月期	増減額
流動資産	71,218	74,461	△ 3,242
うち現金・預金および預け金	35,314	38,683	△ 3,369
固定資産	22,859	22,722	137
資産合計	94,078	97,183	△ 3,105
流動負債	85,235	86,752	△ 1,517
うち営業未払金・未精算旅行券	47,036	48,059	△ 1,022
固定負債	6,481	7,847	△ 1,366
負債合計	91,717	94,600	△ 2,883
うち借入金	0	60	△ 60
純資産合計	2,361	2,583	△ 221
うち利益剰余金	△ 9,703	△ 10,017	314
負債および純資産合計	94,078	97,183	△ 3,105

*現金・預金および預け金は、営業未払金や未精算旅行券の支払いに当てられるものである。

	10/12月期	09/12月期
自己資本比率(%)	2.4%	2.4%

おもな増減要因

<資産>

- ・受取手形/営業未収金
1,325
- ・未収手数料 △461
- ・ソフトウェア仮勘定
(次世代システム等)
2,284

<投資・その他>

- ・投資有価証券△1,033

<負債>

- ・未払金 △234
- ・旅行券等引換引当金
△623
- ・確定拠出移換分未払
金への振り替え
△1,233

2011年通期業績予想(連結/個別)



単位:百万円

	11/12月期 連結予想	10/12月期 連結実績	増減率(%)	11/12月期 個別予想	10/12月期 個別実績	増減率(%)
営業収益	65,300	63,544	2.8	54,300	51,133	6.2
営業利益	2,400	1,636	46.7	2,000	1,297	54.2
経常利益	2,600	1,571	65.5	2,300	1,211	89.9
当期純利益	2,200	314	599.4	2,000	357	459.8

単位:百万円

	連 結		個 別	
	11/12月期計画	前年増減額	11/12月期計画	前年増減額
設備投資	9,227	6,230	9,100	6,351
減価償却費	2,300	570	1,950	508

2011年設備投資額が62億円増加する主な要因は、今年の夏に稼働予定の販売系新基幹システムである。

2011年 旅行形態別売上高・営業収益予想（個別）

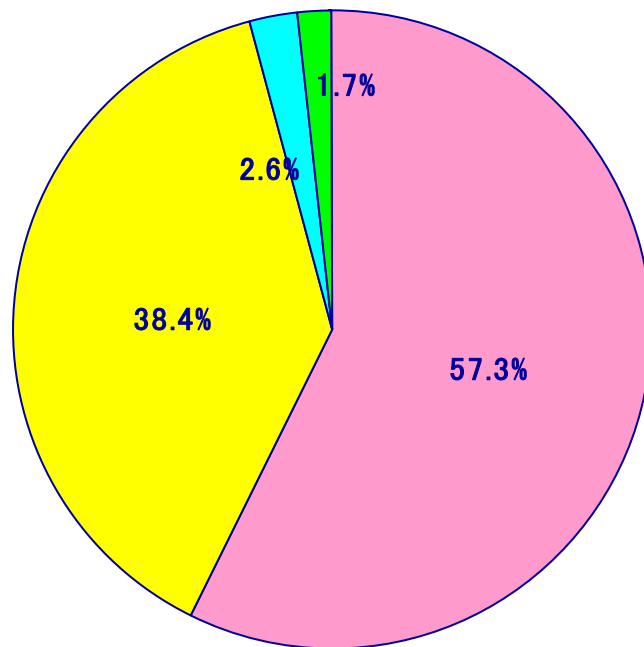
単位：百万円、%

	売上高	増減率	構成比	営業収益	増減率	構成比	収益率
国内旅行	221,300	2.3	57.3	34,000	4.5	62.6	15.4
海外旅行	148,100	3.5	38.4	16,800	8.9	30.9	11.3
国際旅行	10,200	22.3	2.6	1,500	26.1	2.8	14.7
その他	6,400	10.6	1.7	2,000	2.0	3.7	31.3
合計	386,000	3.4	100.0	54,300	6.2	100.0	14.1
団体旅行	118,800	7.3	30.7	19,300	10.0	35.5	16.2
企画旅行	162,000	6.4	42.0	27,500	6.1	50.7	17.0
個人旅行 (代売)	88,600	△ 8.1	23.0	4,000	△ 11.6	7.3	4.5

- ◆国内で遠忌法要の団参需要があるので、国内団体の伸びを予想している。（売上高8.3%増 営業収益8.4%増）
- ◆円高基調もあり海外企画の伸びを予想している。ホリデイ(売上高10.0%増 営業収益8.6%増)
- ◆個人旅行(代売)の国内は、手数料の減等で(売上高▲11.4% 営業収益▲11.7%)を予想している。
- ◆国際旅行は中国・アジアからの訪日旅行の高い伸びを予想している。

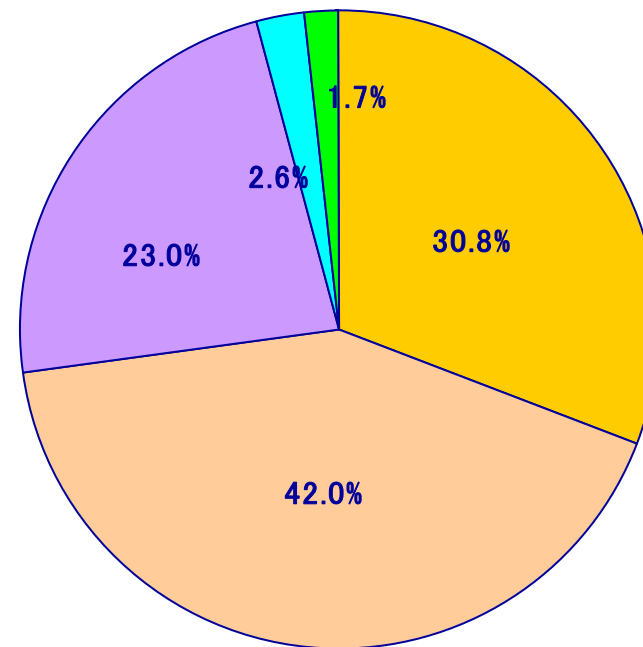
売上高構成比

国内・海外別売上高構成比



国内旅行 海外旅行 国際旅行 その他

団体・企画・個人別売上高構成比



団体旅行 企画旅行 個人旅行
国際旅行 その他

中期経営計画

○顧客ニーズと市場の変化に的確に対応し、効率性を徹底的に追求して利益を確保する。

1. 売上高3,800億円の規模で、安定利益を出せる構造とする。
2. Web販売を飛躍的に伸ばし、直販比率を高めることで、社内に収益を残す。
3. 収益性に見合った要員配置、業務フローの改革を実施し、費用を圧縮する。

財務目標

単位：億円

連結

	2010年実績	2011年業績予想	2012年目標	2013年目標
営業収益	635	653	629	643
営業利益	16	24	41	54
経常利益	15	26	42	55
当期純利益	3	22	37	53

個別

売上高	3,734	3,860	3,680	3,800
営業収益	511	543	516	529
営業利益	12	20	30	40
経常利益	12	23	32	42
当期純利益	3	20	30	45

2012年・2013年の財務目標は、2010年8月11日に発表した数値である。

個人旅行事業

個人旅行事業本部カンパニーの設立(2011年1月1日付)

・Web販売の体制強化

Webにおける商品企画、販売を一部門に集約

<戦略立案>

個人旅行事業本部カンパニー

- 販売戦略/お客様開発
- eビジネス戦略
- 商品戦略

海外旅行
商品事業本部

国内旅行
商品事業本部

海外マルチメディア事業部

海外仕入企画事業部

国内マルチメディア事業部

メイト事業部

- ◎販売系新基幹システムの稼働(今夏)
- ◎Web専用商品開発
- ◎大型店舗の出店



個人旅行事業

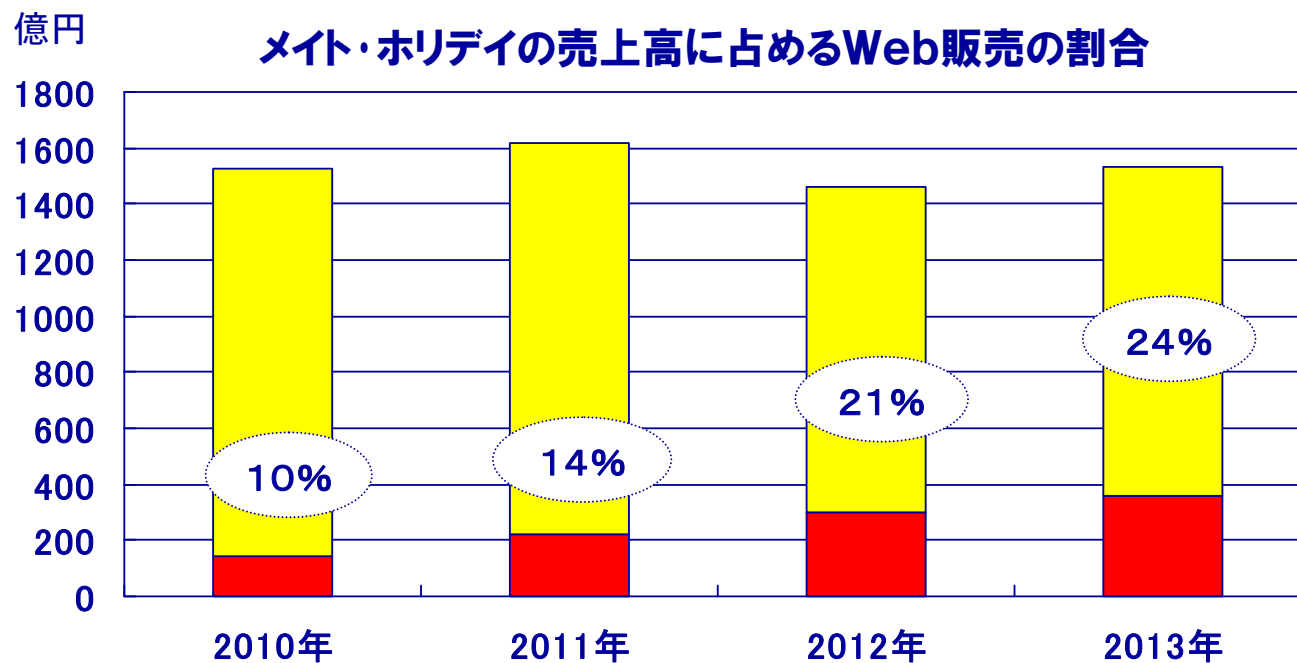
Web販売の数値計画

単位：億円

売上目標	2010年実績	2011年目標	2012年目標	2013年目標
Web販売	180	270	400	500

メイト・ホリデイのWeb販売比率を高める

	2010年実績	2011年目標	2012年目標	2013年目標
メイト・ホリデイ売上高	1,523	1,620	1,460	1,530
(内)Web販売	145	220	300	360



団体旅行事業

スポーツビジネスの強化

スポーツによる地域振興やコンサルティング業務・国際大会の誘致運営の取り組みを強化。

◎スポーツイベントへの取り組み:

2010年:バンクーバーオリンピック、FIFAワールドカップ南アフリカ、ユースオリンピック競技大会、アジア競技大会、世界柔道選手権大会等

2011年:大阪マラソン、神戸マラソン他

2012年:京都マラソン、ロンドンオリンピック他

<重点的取組み>

◎宗教市場での需要拡大:京都で法然上人800年、親鸞聖人750年の遠忌法要
団体参拝旅行の実施 65億円

◎MICE市場での需要拡大

単位:億円

	2010年実績	2011年目標	2012年目標	2013年目標
団体旅行売上高目標	1,106	1,188	1,148	1,163

グローバル事業

中国・アジアでの事業拡大

- ◎中国企業との提携による、現地発海外個人旅行事業への進出
- ◎中国の近畿国際旅行社の業容を拡大し、個人旅行に対応した企画商品、販売チャネルの開発
- ◎訪日旅行受入会社として2010年12月に「KNT ASIA」を設立
- ◎本社組織に訪日旅行部を新設(2011年1月1日)
- ◎ 2011年台湾に現地法人設立の予定



単位：億円

	2010年実績	2011年目標	2012年目標	2013年目標
拠点合計売上高目標	18	26	35	40
(うち中国)	13	13	14	16

単位：億円

	2010年実績	2011年目標	2012年目標	2013年目標
訪日旅行売上高目標	83	102	157	183

IRのお問い合わせ先

近畿日本ツーリスト株式会社

〒101-8641

東京都千代田区神田松永町19-2

ブランド戦略室 広報

TEL:03-3257-1661

FAX:03-3258-4456

URL:<http://www.knt.co.jp>



本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は、決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記載しております業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績は、様々な要因の変化により予想と乖離することもありますので、ご承知いただきますようお願いいたします。